



第四銀行



大和証券グループ

平成 23 年 1 月 24 日

各 位

株 式 会 社 第 四 銀 行
世 界 銀 行
株式会社 大和証券グループ本社

第四銀行が「グリーンボンド」を購入 ～債券投資を通じて地球温暖化対策に貢献する～

このたび、株式会社第四銀行（本社：新潟県新潟市、頭取：小原雅之、以下「第四銀行」）は、世界銀行（国際復興開発銀行）が新規に発行する「グリーンボンド」を購入し、1月21日に払込が完了しましたので、その概要についてお知らせいたします。

グリーンボンドとは、世界銀行が資金拠出を行っている事業のうち、地球温暖化の要因を取り除くこと、あるいは地球温暖化により引き起こされる諸問題に対処することを目的に開発途上国で実施される事業を支援するために発行される債券です。グリーンボンドで調達した資金は、世界銀行の環境専門家が一定の基準に基づいて選定した地球温暖化対策事業、具体的には、代替エネルギーの導入、温室効果ガスの排出を軽減する新技術の開発支援、森林再生、河川流域管理、洪水対策などの事業を支援するために活用されます。世界銀行は、これまで18億米ドル相当のグリーンボンドをユーロ市場において発行してきました。

今回のグリーンボンドについては、発行総額 1,000 万米ドル全額を第四銀行が購入しております。引受けディーラーには、大和証券グループのホールセール証券会社である大和証券キャピタル・マーケッツ株式会社が指名され、発行のアレンジを担当しました。

第四銀行では、金融商品・サービス等を通じて、環境に配慮した取り組みを行うお客さまを支援しています。現在、環境問題への取り組みを強化するために環境プロジェクト「DAISHI ECO ACTION」を立ち上げ、「だいし環境格付融資制度」の新設やお客さまからお預け入れいただいた定期預金の一部を環境保護団体へ寄付をする「だいしでエコ！エコ定期預金キャンペーン」など、様々な施策を展開しています。また、昨年4月には「第四銀行グループ環境方針」を制定し、グループ全役職員が環境問題への意識を高め、環境活動に積極的に取り組んでいます。

第四銀行 執行役員市場運用部長の渡邊卓也氏は次のように述べています。

「当行では、地域振興活動や社会貢献活動、環境活動などを通じて企業の社会的責任を果たし、あらゆるステークホルダーの皆さまの信頼と期待にお応えできるよう努めております。特に環境活動については、本業である金融商品・サービスの提供を通じたお客さま支援や森林保全活動な



第四銀行



大和証券グループ

どの取り組みを行ってまいりました。

そして、この度、債券投資を通じて地球温暖化対策に貢献するという趣旨に賛同し、グリーンボンド購入を決定いたしました。

当行は、地域経済・社会の発展に貢献していくことが地域金融機関の役割であると考えており、これからも新潟のベストバンクとして『地域に貢献し、親しまれ、信頼される銀行』を目指してまいります。」

世界銀行 財務局駐日代表の有馬良行氏は次のように述べています。

「地球温暖化問題を解決する有効な金融手法の一つとして、世界各国の投資家がグリーンボンドに注目する中、日本の機関投資家向けとしては 8 件目となるグリーンボンドにご投資頂きました。第四銀行様には、2005 年からは世界銀行の売出外債の証券仲介を、2008 年からは世界銀行債券ファンドをお取り扱い頂いており、世界銀行の資金調達に継続的なご支援を頂いております。今回機関投資家としても世銀債にご投資頂いたことに大変感謝しております。今後ともより多くの投資家の皆様に世界銀行をご支援頂けるよう、努力して行きたいと思っております。」

また、大和証券株式会社 常務取締役の中村比呂志氏は次のように述べています。

「地球温暖化対策として、現在多方面でさまざまな対策がとられています。温暖化問題の解決には莫大な資金を必要とするため、経済的側面からの対策というのは非常に重要な要素の一つです。グリーンボンドへの投資は、世界が直面する環境問題を経済市場から解決するという可能性をもった手法だといえます。

このたび、第四銀行様の資金を世界が抱える温暖化問題への対策に活用するという、グリーンボンド発行のアレンジに携われたことを嬉しく思います。

我々証券会社は、金融機能を通じて社会に貢献する必要があります。今後も、金融・資本市場を通じて社会の持続的発展に寄与すべく努めて参ります。」

発行概要

発行体	世界銀行（国際復興開発銀行：IBRD）
起債通貨	米ドル
発行総額	1,000 万米ドル
受渡日	2011 年 1 月 21 日
償還日	2016 年 1 月 21 日
各債券の金額	100 万米ドル
主幹事	大和証券キャピタル・マーケット



第四銀行



大和証券グループ

■ 第四銀行について

第四銀行は新潟県新潟市に本店を置く地方銀行で、明治6年（1873年）創立の日本国内で最も古く、永い歴史のある銀行です。新潟県を主たる営業基盤としており、預金・貸出金のシェアは新潟県内で第一位です。

2009年4月から3ヵ年の中期経営計画「だいしAAAA（フォーエー）プラン」において、「お客さまとの信頼関係強化」を重要テーマに掲げ、企業理念である「1. ベストバンクとして地域に貢献し、親しまれ、信頼される銀行」「2. 変化に挑戦し、行動する強い銀行」「3. 創造性を発揮し、活力あふれる銀行」の実現を目指しています。

■ 世界銀行（IBRD）について

1945年に設立された世界銀行（International Bank for Reconstruction and Development）は、世銀グループのうち最も歴史が長く、また単一機関としては最大の開発資金の融資機関となっています。IBRDは中所得国および信用力のある貧困国に融資、保証、および分析・助言サービスなどの非融資業務を提供し、持続可能な開発を推進することで、これらの国の貧困を削減することを目指しています。過去の融資から得られた利益は、開発活動の原資になるだけでなく、IBRDの財務の健全性を示す指標となり、IBRDが資本市場から低利で資金を調達し、借入国に緩やかな条件で融資を提供することを可能にしています。

IBRD融資の原資は、資本市場からの借入、加盟国からの出資金、留保利益、IBRD貸付金の回収で賄われ、そのうち市場での借入が最大の資金源となっています。また、各加盟国は出資金のごく一部を実際に払い込み、残額は世銀から請求された場合にのみ支払います。払い込み請求はIBRDが投資家に対する債務を履行することができない場合に限られ、今日まで請求されたことはありません。IBRDの理事会は186の加盟国を代表する24名の理事で構成されています。このうち5名は任命理事、19名は選任理事です。日本は、1952年にIBRDに加盟しました。

■ 大和証券グループについて

大和証券グループは、1902年創業の日本を代表する独立系総合証券グループです。グローバルなネットワークにより、世界中の顧客に対し資産形成や企業活動の支援といった金融サービスを提供し、社会及び経済の発展に貢献しています。主要な事業は、エクイティ、債券、デリバティブおよびその他金融商品の開発・提供、エクイティ・債券等の引受業務、M&Aをはじめとするアドバイザー業務に加え、アセットマネジメント業務やプリンシパル投資です。

大和証券グループの営業拠点は、日本をはじめ、米国、欧州、およびアジア・オセアニア地域に広がっています。世界中に約16,000人の従業員を抱え、顧客からの預り資産残高は約42兆円、グループのアセットマネジメント会社2社の運用資産残高は合計で約13兆円です。リテール事業を行う大和証券では120の店舗網、約338万の顧客口座数を有し、ホールセール事業を行う大和証券キャピタル・マーケットでは21の国と地域に30の拠点を有しています。（数字は全て2010年9月末現在）

以上